

海に関わるお困りごと(課題)の 解決策を募集します!

「神戸市 海(うみ)プロジェクト」

■募集する提案■

以下のお困りごと(課題)に資する解決策の提案を募集します。

課題について詳しく知りたい場合はご相談ください。事前に打ち合わせの場を設ける場合もあります。

また、ご応募いただいた内容についてはヒアリング(訪問又はオンラインでの聞き取りや問い合わせ)を実施させていただく場合もあります。

①	カテゴリー・項目	概要
①	海洋構造物の調査・点検の効率化	◎海中の構造物の改修における調査・設計・計画策定の低コスト化
②		◎ケレン作業の効率化(①ケレン作業の機械化・自動化 ②ケレンしないで肉厚確認できる手段)
③		◎岸壁・護岸・物揚場の棧橋下面及び一般橋梁部の下面調査等の効率化 ※陸上作業含む
④		水中ドローンにより点検業務の効率化 (①水中GPS機能などリアルタイムの位置把握(×写真撮影)②プログラムなど一定の無人化)
⑤		濁った海水での写真撮影
⑥		その他(①コンクリート変状調査の定量化 ②エプロン等の空洞化調査 ③鋼管杭のペトロラム被覆の維持管理 ④コンクリート劣化写真の自動判別・自動図化 ⑤鋼管杭の肉厚測定 ⑥内部鉄筋の腐食の早期発見)
⑦	沖の状況把握	漁場などの波高、海の水温、比重、潮位・潮流、栄養塩(リン・窒素)などの情報をリアルタイムで正確に把握 ※他社の通信障害を起こさない工夫要
⑧	砂浜遠浅化事業後の堆砂状況把握	水中ドローン等を活用した海中部の水深測量の効率化及び精度向上
⑨	増殖場造成事業の効果検証	一般的な造成効果の検証(魚種や数量なども把握できることが望ましい)
⑩	海の環境改善のシステム化	①貧酸素 ②干潟の海底の土 ③砂・泥の移動不足 ④富栄養の水の循環不足(神戸港・阪神港)⑤ホトギス貝の異常増加による沈着環境の悪化 例)海に酸素を供給できる機械・小型海底耕耘機・水の流れを起こす機械の開発、水中ドローンによる定期的海底調査
⑪	チヌの生態把握(のり養殖の食害対策)	特に、夜間監視処方の改善、数日間の連続調査、コスト削減など
⑫	海洋ごみの実態把握及びごみの回収	海洋の漂流ごみや海底ごみの量と種類等の実態の効率的な把握及び効率的な回収 ※特に海洋プラスチック例)ドローン空撮し、浮遊ごみの種別・個数・位置情報のAI解析など
⑬	腐食対策の改善	①内部鉄筋の腐食抑制 ②重防食被覆の課題解消 ③耐久性が優れた防食方法
⑭	海洋ロボットや潜水士のテスト環境の整備	津波災害時などの人命救助のための救命艇など開発したものの様々な試験ができ、又は海洋多目的テストフィールドにて実証実験や潜水士などオペレーターを養成する。

■支援■

1件あたり上限5,000千円

※総額で12,000千円(消費税・地方消費税含む)を上限として3~5件程度を採択予定で、委託契約を締結します。

※費用を必要としない提案も歓迎です。関係者などの調整や課題提出者への紹介なども行います。(委託契約不要)

■募集期間■

令和3年9月28日(火)17:00まで【必着】

■応募方法■

以下のHPをご確認ください。

<https://www.city.kobe.lg.jp//a22668/1234567.html>

■留意事項■

課題及び解決策の提案者は市内業者を条件としていませんが、海プロジェクトの実証テスト等については神戸市内で実施します。

■提出先・問い合わせ先■

神戸市企画調整局エネルギー政策課(海洋産業担当) TEL: (078) 322-5301

郵送先: ☎650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1

メールアドレス: ocean@office.city.kobe.lg.jp

「海(うみ)プロジェクト」

概要

本市では、海洋分野での新しい産業の創出、地元中小企業の振興、そして次世代の人材育成を図ることを目的に、海洋産業の振興に取り組んでおり、産学連携の推進やネットワークの構築に努めています。

令和3年度の取り組みとして、神戸市の海洋産業振興に繋げることを目的とし、海に関わる解決したい課題を幅広く募集し、その課題を企業の知見やノウハウによって解決できる技術等を公募・支援する実証事業「海プロジェクト」を実施します。

STEP① 海に関わるお困りごと(課題)の募集 【令和3年8月16日(月)まで】



STEP② 解決を目指すお困りごと(課題)のリスト作成 【令和3年8月末】



集まった課題の中からステップ③で公募する課題について優先順位を示したリストを作成

STEP③ 解決策を提案・実証実験していただける事業者の募集 【令和3年9月～9月下旬(予定)】

今回ご案内のとおりです。



STEP④ 実施する海プロジェクトの決定 【令和3年9月末(予定)】

STEP⑤ 海プロジェクト(・実証テスト)の実施 【令和3年10月上旬～令和4年3月中旬(予定)】

STEP⑥ 実績の報告 【令和4年3月下旬(予定)】